

2022年3月期 決算説明会

2022年5月6日
BIPROGY株式会社

1 2022年3月期 決算概要

2 経営方針（2021－2023）の進捗

3 2023年3月期 業績予想

4 中長期の成長に向けて

2022年3月期 連結経営成績（IFRS）

- ✓ システムサービスおよびアウトソーシングが伸長し、増益を牽引
- ✓ 受注高はDX案件を中心にシステムサービスが引き続き高水準となり拡大

（単位：億円）

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	
売上収益	3,084	3,176	+92 (+3.0%)	(売上収益) システムサービスがDX関連案件を中心に伸長したことに加え、アウトソーシング売上収益も着実に積み上がり増収。
売上総利益	792	831	+39 (+4.9%)	
販管費	△540	△565	△24 (+4.5%)	(営業利益) 増収および収益性向上による売上総利益の拡大などにより、営業利益は増益。
その他の収益・費用等	△6	8	+13	
営業利益	246	274	+28 (+11.4%)	(当期利益) 営業増益および金融収益の増加等により当期利益は増益。
（営業利益率）	（8.0%）	（8.6%）	（+0.7pt）	
親会社の所有者に帰属する当期利益	166	205	+39 (+23.1%)	
調整後営業利益*	252	267	+15 (+5.9%)	
（調整後営業利益率）	（8.2%）	（8.4%）	（+0.2pt）	
受注高	3,243	3,270	+27 (+0.8%)	(受注高・受注残高) システムサービスが引き続き好調に推移し、受注高、受注残高ともに前期を上回る。
受注残高	2,424	2,517	+93 (+3.8%)	
（内、次年度内売上予定分）	1,131	1,240	+109 (+9.6%)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

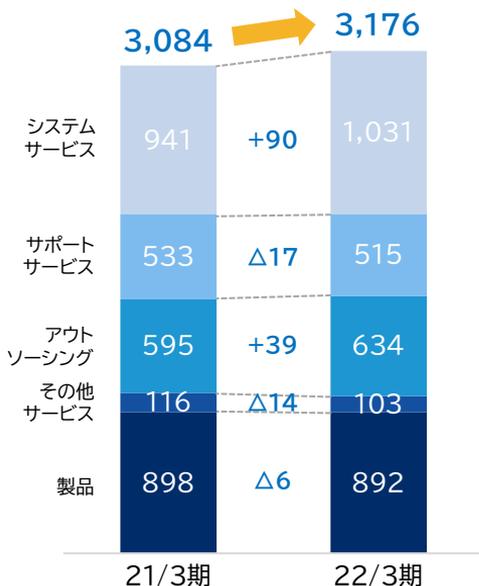


2022年3月期 セグメント別の状況 (IFRS)

(単位:億円)

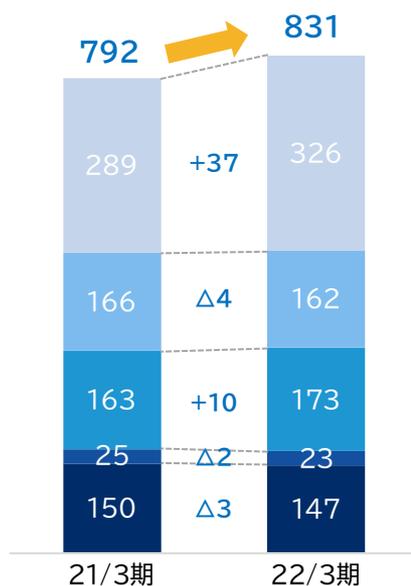
売上収益

+92
(+3.0%)



売上総利益

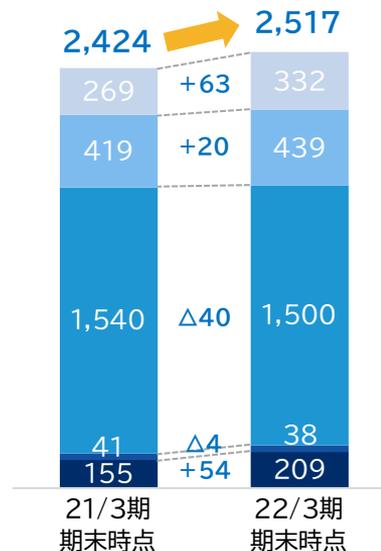
+39
(+4.9%)



【参考】

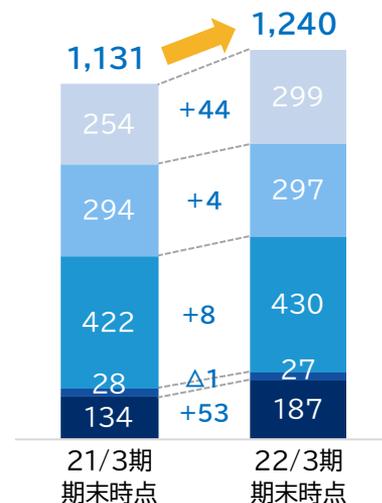
受注残高 (合計)

+93
(+3.8%)



受注残高 (次年度内売上予定分)

+109
(+9.6%)



2022年3月期 アウトソーシングの状況 (IFRS)

【アウトソーシング 売上収益】

(単位:億円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比
運用受託型	497	498	+1
企業DX型	49	74	+25
サービス型(事業創出型)	49	62	+13
売上収益 合計	595	634	+39

【アウトソーシング 受注残高】

(単位:億円)

	2021年3月期末	2022年3月期末	前期末比
受注残高	1,540	1,500	△40
(内、次年度内売上予定分)	422	430	+8

(企業DX型アウトソーシング)

- ✓ 国内初のパブリッククラウドでのフルバンキングシステム「BankVision on Azure」が稼働中。新規採用行も着実に拡大。
- ✓ 地域金融機関向け利用型勘定系サービス「OptBAE(オプトバイ)」の導入サービスが順調に進捗。第4四半期には複数の顧客にて稼働を開始。

(サービス型(事業創出型)アウトソーシング)

- ✓ EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタルアトリエ)」の採用・導入が順調に拡大。第4四半期より大手小売業の新ECサイトにて稼働開始。
- ✓ バリューカードビジネスやドライブレコーダーサービスは引き続き安定的に推移。



1 2022年3月期 決算概要

2 **経営方針（2021－2023）の進捗**

3 2023年3月期 業績予想

4 中長期の成長に向けて

今後の成長ドライバーとなる取り組み①

- 業界大手企業のアウトソーシングサービス(サービス型・企業DX型)のユーザ数が順調に拡大
 - コマース事業基盤DIGITAL' ATELIER :OMO※対応型DXシステムとして通販業界複数社に新規採用
 - AI自動発注サービスAI-Order foresight :店舗業務DXの要となるサービスとして利用企業が順調に増加中
- 顧客DX、社会DXを実現するシステムが堅調
 - 電子棚札ソリューション :小売業界大手を中心に導入・検討が進む
 - 調達購買ソリューションeBuyerBrains :サステナブル調達、ESG対応として受注・引き合い強い
- 社会課題解決に向けた取り組みは、バリューチェーン、サプライチェーン全体に波及

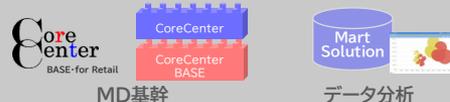
顧客DXの実現



アウトソーシングサービスの成長



既存アセットの利用拡大



様々なアセット活用と顧客DXの積み重ねが業界の枠を超えた社会DXを加速

※Online Merges with Offline: オフラインとオンラインの融合

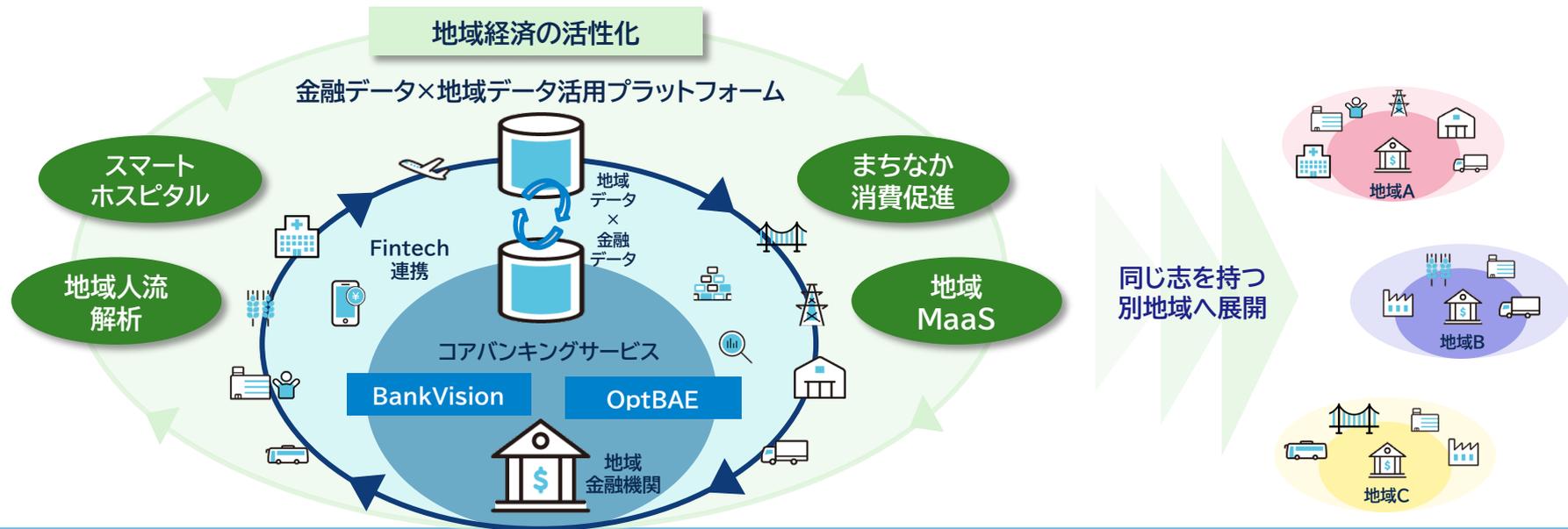
社会DXの実現

社会全体の課題を解決



今後の成長ドライバーとなる取り組み②

- 地域金融機関向け勘定系システムの新アウトソーシングサービス稼働開始し、採用拡大
 - BankVision on Azure :国内初、パブリッククラウドによるフルバンキングシステム本番稼働開始
複数行にて採用決定、多数の金融機関にて検討中
 - OptBAE :2金庫でサービス利用開始、多数の信用金庫でサービス開始準備中
- 地域データを蓄積・共有、改善ループを回す仕組みを提供し、地域経済の活性化へ



その他事業を支える取り組み

サステナビリティ経営

事業成長における マテリアリティ

- 「社会や地球を全体最適で捉えた社会課題解決型ビジネス」が持つ価値を測る指標を開発中
- 環境貢献に寄与する製品やサービスが提供する環境貢献度の見える化を推進

事業成長を支える 基盤となる マテリアリティ

- 「E」気候変動シナリオ分析によるビジネス機会とリスクの抽出、インパクト評価の実施
- 「S」女性活躍に優れた上場企業を選定する「なでしこ銘柄」に選定(令和3年度)
- 「G」ESG指標をもとに新マテリアリティKPIを4段階で評価し、役員報酬に反映

人財戦略・風土改革

- 社会的価値創出と経済的価値創出の両立にチャレンジする人財や、それをフォローする人財・組織が増加

投資戦略

- 投資先スタートアップ企業と当社グループアセットの融合から、新たな事業創出への取り組みが活発化

1 2022年3月期 決算概要

2 経営方針（2021－2023）の進捗

3 2023年3月期 業績予想

4 中長期の成長に向けて

2023年3月期 通期業績予想 (IFRS)

✓ 顧客DXや社会DXを推進するアウトソーシングビジネスの拡大により増収増益を見込む

(単位: 億円)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前期比	
売上収益	3,176	3,300	+124	(+3.9%)
営業利益	274	290	+16	(+5.7%)
(営業利益率)	(8.6%)	(8.8%)	(+0.2pt)	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	205	200	△5	(△2.4%)
調整後営業利益*	267	290	+23	(+8.7%)
(調整後営業利益率)	(8.4%)	(8.8%)	(+0.4pt)	

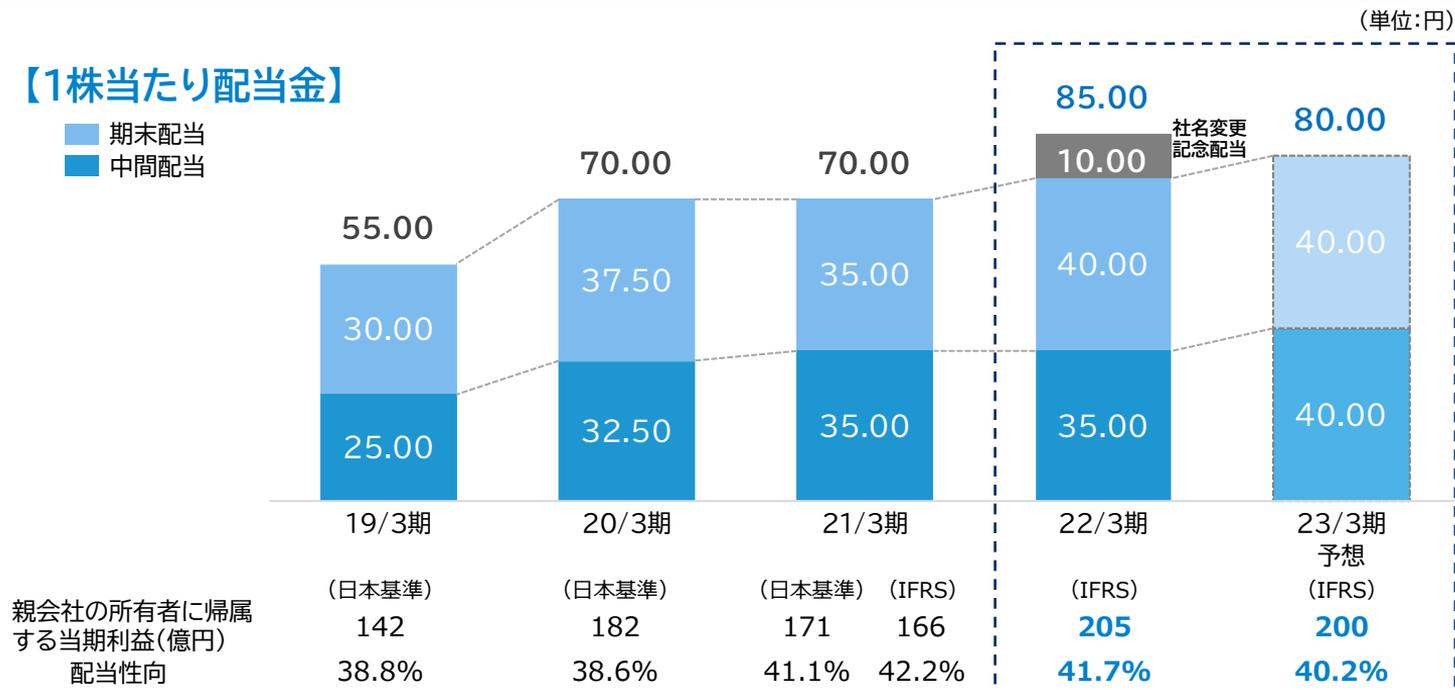
*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

2023年3月期 通期配当予想 (IFRS)

- ✓ 2022年3月期の期末配当は40円とし、直近の配当予想35円より5円増額
- ✓ 加えて1株当たり10円の社名変更記念配当を実施予定

【1株当たり配当金】

■ 期末配当
■ 中間配当



1 2022年3月期 決算概要

2 経営方針（2021－2023）の進捗

3 2023年3月期 業績予想

4 中長期の成長に向けて

中長期の成長に向けて「For Customer」「For Society」

顧客DXと社会DXの両面から様々な取り組みを推進し、Vision2030実現に繋がる活動を進めています

働く・暮らし

ライブコマース・ECの
普及・浸透

 DIGITAL ATELIER Live kit
デジタルアトリエ

人手不足解消
未来型店舗へのソフト

 AOF
AI-Order
Foresight
AI自動発注



電子棚札



自動走行
ロボット
RASFOR

New Retail Trinity Model

異業種・Fintechなど
外部サービス連携
BankVision
on Azure



金融機関

事務削減
顧客接客強化
営業店業務支援
SmileBranch

交通・モビリティ



生活者のMaaS
基盤 L-PASS
観光周遊
アプリ

SIP第2期
「自動運転」

仮想空間上で再現した
シミュレーションモデル
の使用体験(DIVP)



カメラ・レーダー・LiDAR

医療・教育

医療AIプラットフォーム
技術研究組合(HAIP)の設立

SIP第2期
「AIホスピタルによる高度
診断・治療システム」



パーソナライズド
ヘルスケアの実現

スマートホスピタル実現に
向けた包括共同研究を開始

For Customer
顧客DXの推進

For Society
社会DXの推進

グリーン・エネルギー

エネルギー地産地消・
災害時レジリエンス向上

国産木材流通促進
キイノクスプロジェクト

建物設備管理
デジタルツイン



住宅・マンション
VRモデルルーム

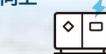


価値交換基盤
doreca

サイバーリスク対策
マネージド・セキュリティー・
サービスの提供

環境価値ビジネス
～非化石証書トラッキング
委託事業～

非化石証書



エネルギーマネジメント

Enability
シリーズ

再エネ拡大に向けた
PPA事業の支援
※第三者所有型モデル



太陽光パネル

業界横断でビジネスアセットをかけ合わせ、3つの社会インパクトに向けて新たな市場を創り出す
 ~ 持続可能な社会づくりを目指す「デジタルコモンズ」の提供者として ~

レジリエンス

リジェネラティブ

ゼロエミッション

金融

モビリティ

エネルギー

流通

ヘルスケア

エンベディッド
バンキング

デジタル通貨

サステナブル
ファイナンス

自動運転

V2X

smart
oasis

EV充電
インフラ

MaaS

※V2X:Vehicle to everything

地域
マイクログリッド

エネルギー
マネジメント

Enability
シリーズ

環境価値

再生可能
エネルギー

太陽光
発電&需要予測

D2C

OMO型店舗

グローバル
サプライチェーン

共同輸配送

※D2C:Direct to Consumer

パーソナル
ヘルスケア

医療AI

ヘルスケアデータ
利活用



BIPROGY

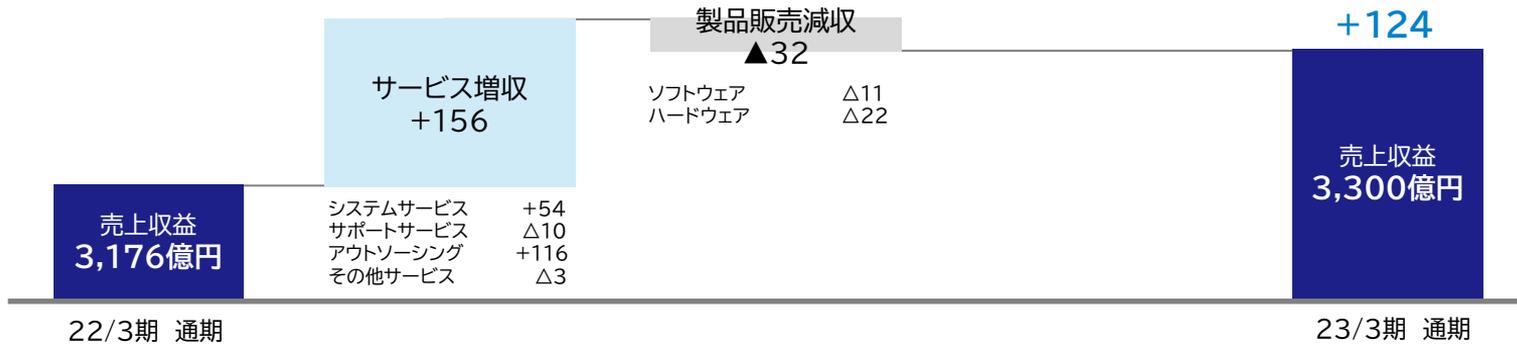
Foresight in sight



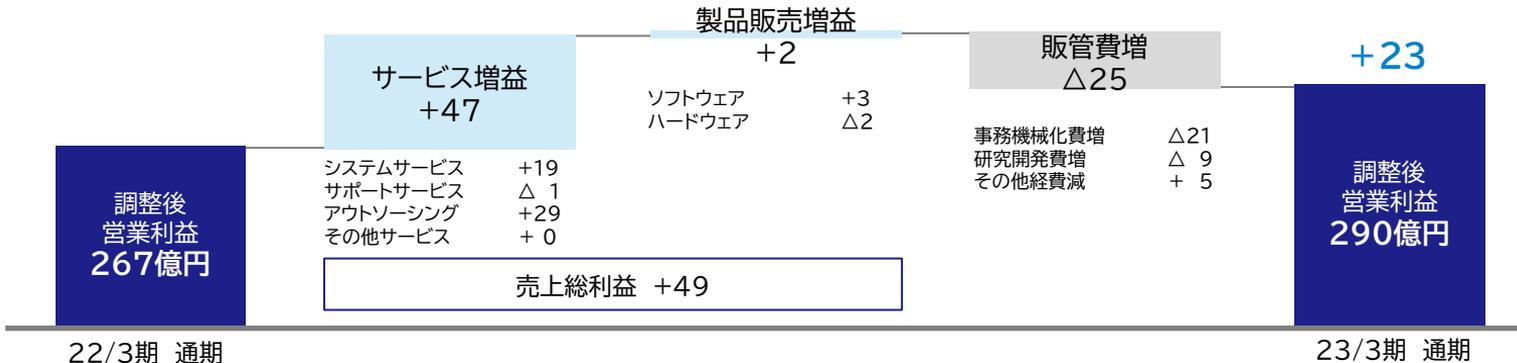
(参考) 2023年3月期 通期業績予想 (IFRS) 増減分解

(単位:億円)

【売上収益の増減分解】

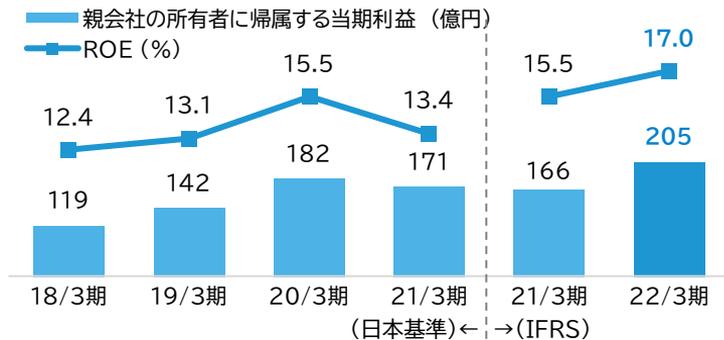


【調整後営業利益の増減分解】

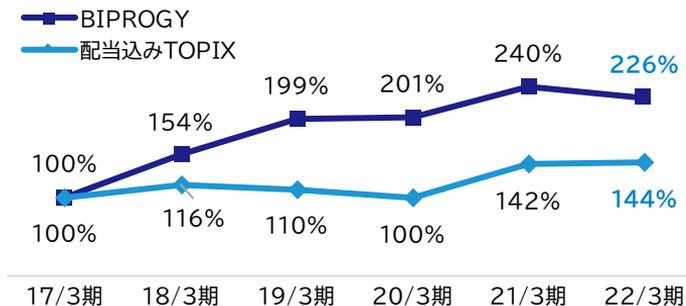


(参考) 財務指標推移

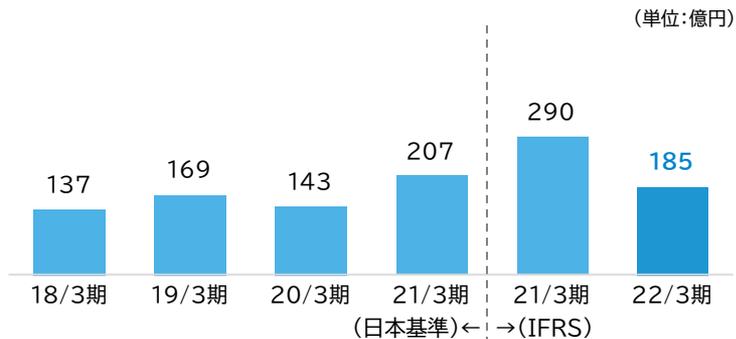
親会社の所有者に帰属する当期利益／ROE



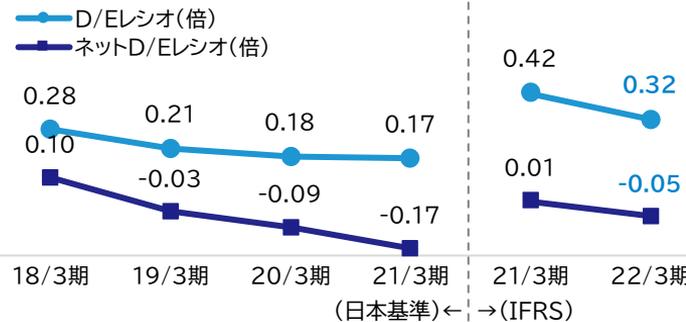
株主総利回り(TSR)



フリー・キャッシュ・フロー



D/Eレシオ



本資料に記載の会社名、商品名および商標は、各社の商標または登録商標です。

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

さあ、この星に終わらない物語を。



2022年4月 日本ユニシス株式会社は ビプロジー BIPROGY株式会社へ商号変更しました。